

■ はじめに

本書では、ネットワークカメラの温度変化に伴う画像影響、およびその際のオートバックフォーカス（ABF）、オートフォーカス（レンズAF）機能の特性についてご説明します。

■ 対象機種

ABF、レンズAF（以下AF）機能をもつネットワークカメラ

■ レンズ特性

通常、常温（ $25\pm 5^{\circ}\text{C}$ ）を基準として使用温度範囲内において良好な画像が得られますが、使用温度範囲内であっても温度差が非常に大きい場合などでは解像感の悪化が見られることがあります。

■ 対応方法

解像度の悪化がある場合においても、AFを行うことで最良な画像が得られます。但し、常に温度変化が発生する環境においては常温（ $25\pm 5^{\circ}\text{C}$ ）でAF実施することをお勧めします。

- 下記に温度変化による画像解像感の変化例を示します。
設置後に環境温度の変化が大きくなると解像感が悪化する場合があります。
※解像感が悪化した場合は、再度AFなどでフォーカスの再調整を行ってください。
フォーカスの再調整は、できるだけ常温で実施することをお勧めします。

使用温度範囲
-30℃～+60℃

事例①

通常使用
想定の場合



事例②

温度差が非常に
大きい場合

